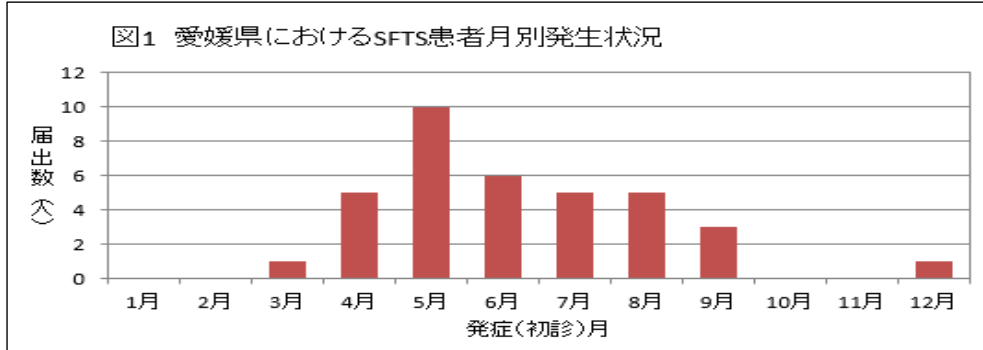


県内で重症熱性血小板減少症候群（SFTS）の 届け出が 1 例ありました

感染対策ニュース

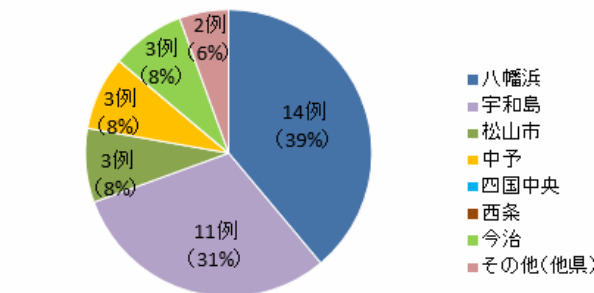
これまでに県内で確認された SFTS 患者数は 36 例



肌の露出を
避けましょう！

- 帽子
- 首にタオル
- 長袖、長ズボン

図2 SFTS患者の居住地区(保健所管内)



2021 年第 2 号
2021 年 7 月
編集・発行
市立宇和島病院
ICT

重症熱性血小板減少症候群（SFTS）とは

感染経路 多くの場合は、ウイルスを保有しているマダニに咬まれることにより感染します。複数のマダニ種（タカサゴキララマダニ、フタトゲチマダニ、キチマダニ、オオトゲチマダニ、ヒゲナガチマダニ等）から、SFTS ウイルス遺伝子が検出されました。



キチマダニの成虫 ♂(左) ♀(右)
体の大きさ：約 2mm から 3mm



キチマダニの若虫
体の大きさ：約 1mm



タカサゴキララマダニの若虫
体の大きさ約 2mm

症状 マダニに咬まれて 6 日から 2 週間ほど潜伏期間の後、原因不明の発熱や消化器症状（食欲低下、嘔気、嘔吐、下痢、腹痛）が中心です。その他の症状として、頭痛、筋肉痛、神経症状（意識障害、けいれん、昏睡）、リンパ節腫脹、呼吸不全症状、出血症状（歯肉出血、紫斑、下血）などがあります。

予防 野山や畑、草むらなど、ダニ類の生息場所に出かけるときには、次のことに気をつけましょう。長袖・長ズボンまたは登山用のスパッツを着用しましょう。サンダルなどの肌が見える靴は避けましょう。帽子、手袋や軍手を着用し、首にタオルを巻くなど、肌の露出を抑えましょう。マダニが付いても見えやすい明るい色（白色はダニが好むため注意）や、マダニが付きにくいつるつるした素材の服がお勧めです。DEET（ディート）という成分を含んだ虫よけ剤はダニに効果的です。屋外活動後は、すぐ入浴し、わきの下、足の付け根、手首、ひざの裏、胸の下、頭などマダニに咬まれていないか確認してください。